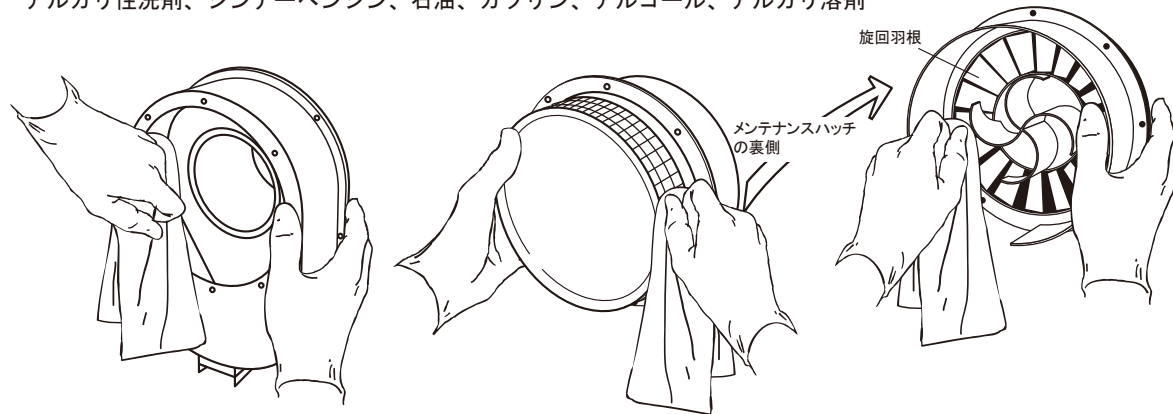


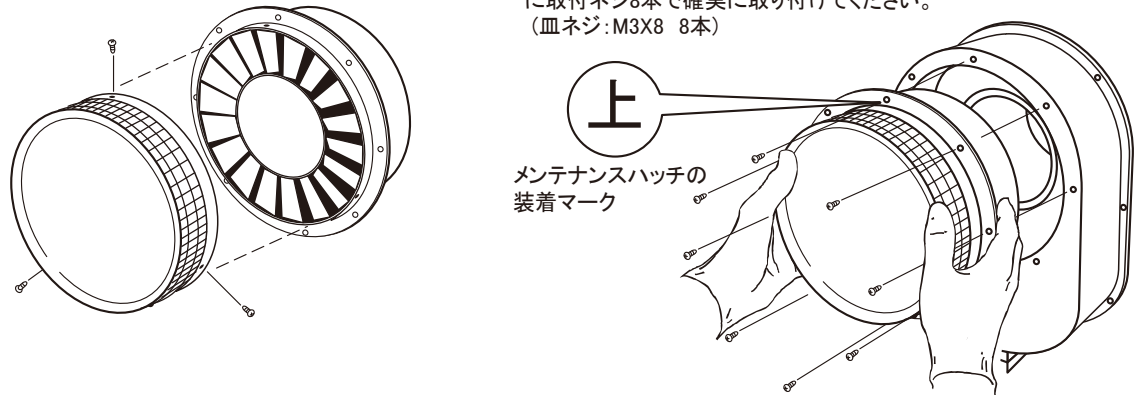
清掃方法 つづき

- 旋回羽根や金網に付着した綿ホコリやクモの巣などは、雑巾などで取り除き掃除機で吸い取ってください。
- 表面に付いた汚れ・ホコリ・鉄粉などはやわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合や油などは、中性洗剤を浸してしぼった布で汚れを拭き取ります。
- 製品のキズつきを防ぐため、金属製のブラシや研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。また、製品の変質・変色を防ぐため次のような溶剤は使用しないでください。
アルカリ性洗剤、シンナーベンジン、石油、ガソリン、アルコール、アルカリ溶剤



- メンテナンスハッチの中側は、3箇所のネジを外して清掃してください。清掃後はもとに戻してネジ止めしてください。(皿ネジ:M3X7 3本)

- 清掃の後は、水気をふき取ってよく乾かしてから、メンテナンスハッチを本体に取り付けてください。メンテナンスハッチは、装着マークを確認して向きを間違えないように取付ネジ8本で確実に取り付けてください。(皿ネジ:M3X8 8本)



注意	<ul style="list-style-type: none"> ●ダクトに水が入らないようにご注意ください。換気機器が故障するおそれがあります。 ●清掃の後は、メンテナンスハッチの装着マークを確認して向きを間違えないように確実に取り付けてください。正しく取り付けないと誤動作を招きます。 ●水気をふき取ってよく乾かしてから、メンテナンスハッチを取り付けてください。
-----------	--

注意事項

本製品の点検・交換等のメンテナンスは、販売店様や工事店に依頼してください。
本製品の取り扱いには作業手袋を着用し、部品の切り口や角などでケガの無いようご注意ください。
本製品の高所施工作業の際は、転落事故の無いよう必ず安全対策を行ってください。

お問い合わせは下記へ

日本電興株式会社

〒486-0912
愛知県春日井市高山町2丁目31番5
TEL 0568-34-6688
FAX 0568-34-6611

無断複製・転載禁止 2016.01

取扱説明書

屋外用



サイクロン式給気フード
型番 CY-100-MG

工事店様へお願い

取付工事後、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。
このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は建物換気の給気用にダクトの先端に取り付けて使用するものです。
正しくご使用いただくために、この説明書をよく読み、お使いになる方がいつでもご覧になれる場所に保管していただきますよう宜しくお願い致します。

取付工事を始める前に

本書説明書内の記号について

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。
禁止	禁止行為であることを告げるものです。
強制	行為を強制したり指示をする内容があることを示します。

本製品の用途

本製品は、24時間常時換気(第1種換気または第2種換気)の給気用に使用する屋外用のフードです。サイクロンの作用により、給気中の虫やダストを除去することを目的とします。虫や粉塵等の侵入が気になる場合にお使いください。

本製品を正しく安全に取り付け、ご使用いただくために、つぎのことを必ずお守りください。

- 取付工事を始める前に必ずこの説明書を最後までお読みになり、正しく安全に取り付けてご使用ください。
本製品は、1種換気または2種換気で屋外の空気を給気する場合に屋外(外壁)側のダクト先端に取り付けて使用するものです。
 換気(給気)以外の目的には使用しないでください。
 ご使用目的によって機種が異なりますのでご注意ください。設置場所によっても機種が異なりますので、販売店または工事店にご相談ください。
 取り付けが可能なダクトが外壁まで配管してあるか確認してください。
 取付工事は専門店(工事店)が実施してください。
 適用ダクトの種類 φ100mmのスパイラルダクト・フレキシブルダクト・塩ビ管に接続可能です。

警告	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品を燃焼設備(給湯器・風呂釜など)の排気ダクトに使用しないでください。 ●取り付けの際は、躯体等強度の十分な場所へ確実に取り付け、必要に応じてコーキングまたはビスなどでしっかり固定してください。落下によりケガをしたり、周囲の物品等を破損するおそれがあります。
注意	<ul style="list-style-type: none"> ●取り扱いの際は、必ず手袋をしてください。部品の切り口や角などでケガをするおそれがあります。